

受験生・高校生を応援！ 私たちが できること

●新型コロナ対応に全力

東大阪生協病院、西淀病院、
耳原総合病院の取り組み

●なにわの医療道場

●合格HISTORY

●高校生・受験生のみなさんへ
「未来の医師を応援」

●いgakuseiだより

●けんしゅうエッセー



私たちは
おおさか民医連
Osaka Min-iren



大阪民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。2018年、連合会設立65周年を迎えました。現在、4つの病院、47の診療所、5つの歯科診療所、20の訪問看護ステーション、34の保険薬局、2つの老健施設、薬剤・診療材料センター、1つの看護専門学校、検査センター、在宅看護支援センターそして社会医学研究所が、大阪民医連に加盟しています（2018年2月現在）。病院・診療所での実習を、随時受け入れています。

※医学生センターは、阿倍野医学生センター（市大近辺）、枚方医学生センター（関西医科大学近辺）、狭山医学生センター（近大近辺）の3つです。

奨学金 制度

大阪民医連では、いつでも、どこでも、だれもが安心してよい医療を提供できる医療機関を目指しています。私たちの医療活動に共感し、ともに働く意思のある方を対象に奨学金を貸与しています。

●対象学年と奨学金（月額）

Aコース	1~2年生 50,000円	3~4年生 60,000円	5~6年生 70,000円
Bコース	全学年 100,000円		

他の奨学金と併用できます。詳しくはお問い合わせください

大阪民医連の病院紹介（詳細は各病院のHPをご覧ください）



臨床研修
指定病院

耳原総合病院（病床数 386床）

- 大阪府堺市堺区協和町4丁465 TEL.072-241-0501代
- 南海高野線堺東駅よりバス10分



臨床研修
指定病院

西淀病院（病床数 218床）

- 大阪市西淀川区野里3-5-22 TEL.06-6472-1141
- JR東西線御幣島駅徒歩5分



東大阪生協病院（病床数 99床）

- 東大阪市長瀬町1-7-7 TEL.06-6727-3131
- 近鉄大阪線長瀬駅徒歩3分



コープおおさか病院（病床数 166床）

- 大阪市鶴見区鶴見3丁目6-22 TEL.06-6914-1100
- 地下鉄長堀鶴見緑地線今福鶴見駅徒歩4分



私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す組織です。戦後、医療に恵まれない人々と医療従事者が手をたずさえて各地で民主診療所が作られました。そして、1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を立ち上げました。

それから60年余り、なによりも地域の人たちの思いを大切に、地域に求められる医療を行ってきました。

最も困難な人たちの立場に立つて、寄り添う。

設立以来一貫して、無差別・平等の理念を掲げる私たちの病院は、差額ベッド代を(※1)頂いていません。また、無料低額診療にも(※2)取り組んでいます。これは、「お金のあるなしで医療に差別があつてはならない」という私たちの考えによるものです。

※1…医療保険外の実費負担費用。病院によって金額は異なる ※2…低所得者などに無料または低額な料金で行う診療

民医連綱領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一、人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめ、人びとのいのちと健康を守ります
- 一、地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日
全日本民主医療機関連合会

民医連の組織現勢

全日本民医連加盟事業所数 (2019.1現在)	
病院	142
有床診療所	14
無床診療所	480
歯科	82
訪問看護ステーション	247
保険薬局	352
薬剤・診療材料センター	34
看護・介護学校	8
検査センター	2
老人保健施設	52
在宅介護支援センター	24
特別養護老人ホーム	37
鍼灸所	3
研究所	2
ヘルパーステーション	55
グループホーム	23
在宅介護福祉関係施設	213
ケアハウス	11
その他	13
合計	1,794

主な医療団体との比較

職員数		1日平均の入院患者数	
民医連	82,330 (2017.10.1)	民医連	23,068 (2017年度)
日赤	58,349 (2017.4.14)	日赤	29,000 (2017年度)
厚生連	54,418 (2018.3)	厚生連	26,673 (2016年度)
済生会	60,000 (2018.3)	済生会	18,273 (2016年度)
1日平均の外来患者数		病院数	
民医連	68,696 (2017年度)	民医連	142 (2017.12)
日赤	67,000 (2017年度)	日赤	92 (2017.3)
厚生連	47,287 (2016年度)	厚生連	107 (2018.3)
済生会	27,780 (2016年度)	済生会	80 (2018.3)
訪問看護ステーション数		病床総数	
民医連	247 (2019.1)	民医連	24,109 (2017年度)
日赤	46 (2016.1)	日赤	36,317 (2018.3)
厚生連	100 (2018.3)	厚生連	33,794 (2018.3)
済生会	57 (2018.3)	済生会	22,227 (2018.3)
診療所数		(調査日)	
民医連	494 (歯科除く)		
日赤	5		
厚生連	64 (2018.3)		
済生会	17 (2018.3)		



新型コロナ対応に全力

この間の新型コロナウイルス感染症の流行に際して、民医連の医療機関は地域の患者さんの生活と健康を守ることと職員・入院患者さんを新型コロナウイルス感染症から守ること、を合わせて取り組んできました。

東大阪生協病院の 取り組み紹介！

暑さに負けず、地域住民の 受療権を守るために奮闘！

職員の皆さん、連日のご奮闘大変お疲れ様です。4月下旬から気温が上昇し25度を超える日々が続く、発熱外来に奮闘する職員の暑さ対策も急務となってきました。防護服用で身体はサウナ状態に(汗)4月30日より、アイスノンを首に巻き付け奮闘頂いています。

発熱外来へは保健所へ問い合わせをして紹介されて受診する方や、当院の患者さんだが微熱が続くので不安で来院される方など様々ですが、診察をさせて頂いたことで安心して帰られる方が多くおられます。藤田理事長・三橋院長を先頭に、医局で情報共有し日々取り組んでいます。地域医療と経営を守り、自らの健康管理・感染予防と奮闘続きで大変ですが、一人一人が互いにいたわり、声を掛け合い、支え合ってワンチームでコロナを乗り越えましょう！

(医局通信No.111,2020.5.7)

より)



奮闘するスタッフ

フェイスシールドを手作り！

西淀病院の 取り組み紹介！

西淀病院では防護服の在庫が枯渇しかけていたため、フェイスシールドを手づくりで作成しています。素材は硬質のクリアカードケース(1000円ショップで入手可)。

左の写真はカードケースを切り取り黄色いビニールテープで縁を保護したものをゴムひもで止めるタイプのもので、右の写真はサンバイザーに手づくりシールドを付けたものです。すごいハイクオリティーに仕上がっています。

(大阪民医連週報号外No.006,2020.4.24付)

コロナから患者の安全を守れ！ 西淀病院が陰圧テントを設置！

西淀病院が駐輪場に発熱患者の診療用陰圧テントを設置しました。

これで発熱者と一般の受診者の動線を分けて、交差を避けることが出来るようになります。感染に対する不安を和らげることもできます。

現在、GW明けの運用開始を目指して陰圧装置稼働のための電源の確保や電子カルテをはじめ機材の配置場所の検討や患者・職員動線のシミュレーションを準備中です。

がんばれ！西淀病院！

(大阪民医連週報号外No.009,2020.5.7付)





耳原総合病院の
取り組み紹介！

防護服作り

耳原総合病院では毎週金曜日に防護服を作成しています。ゴミ袋を型通りに業務用のドライヤーで熱して繋ぎ目を作り、ハサミで切れ込みを入れて袖や首元を作ります。とてもシンプルな工程で、すぐに誰にでも作れます。作業場も和気あいあいとしていて、とても良い雰囲気です。

防護服は豊中市市民病院のを参考に、現場の声を受けて随時改良しています。袖のない形の防護服もあり、友の会の方が家で作って送って下さい。



作業場の様子



オベなどには正式な防護服を確保できるように、普通の患者は袖なし、疑いがあるなら袖あり、というふうな感じで手作り防護服を患者の段階によって使い分けます。

(大阪民医連週報号外No.014.2020.5.21号)

東大阪生協病院の 取り組み紹介！

株式会社ヤクルトより N95マスク寄贈

コロナ禍で不要不急の外出控えでストレス発散も出来ない中、連日の医療活動や感染予防に大変お疲れ様です。先日、株式会社ヤクルトよりN95マスクが寄贈されました。併せて職員の皆さんへとヤクルト1000本も頂きました。この間、沢山の医療機関に問い合わせるも受診出来ずに、ヤフーニュースを見て、当院へ受診される利用者が後を絶たず、当院患者さんから私たちへの激励メッセージやマスクの寄贈など、大変な中でも熱いドラマが生まれています。頂いたヤクルトで腸内環境を整えて、引き続き共に支え、励まし合い、心を一つにコロナを乗り越えましょう！



N95マスクとヤクルト1000本寄贈

(医局通信No.113.2020.5.21号)

手作り防護服が全国から 続々と届く(笑)

5月19日に沢山の手作り防護服が届けられました。以前当院でご勤務されていた医師からSNSを通じて呼び掛けられ、全国各地より届けられました。防護服と一緒に心のコもったメッセージも同封されていました。発熱外来や訪問診療、各診療所にてお配りするのをご活用下さい。



(医局通信No.113.2020.5.21号)

西淀病院(大阪市西淀川区、218床)の病院長が職員に対して要請した内容を紹介します。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)から私たちが地域の患者さんを守るために、行すべき9つのこと

大阪民医連会長 大島 民旗
19ncov対策本部長



2019年末に発生した新型コロナウイルス(COVID-19)は、世界的な流行を来し、欧米のいくつかの地域では「医療崩壊」を起しています。患者に必要な医療資源(人工呼吸器など)を提供できず、医療者も十分な感染防御ができず死者も増えています。

日本は4月3日時点で2617名の感染者、63名の死者で、まだ爆発的な流行には至っていないものの、日に日に1日当たりの感染者数が増えており、今後他の流行国と同様の経過をたどる危険が迫っています。

この文章は私たち職員と地域の患者さんをCOVID-19の被害から守り、「医療崩壊」を回避するためにとっていただきたい行動を示しています。この間、医療活動や経営改善で発揮してきた「団結力」でこの局面を乗り切るため、これまで実行してきた個人・職場レベルでの行動に加え、以下を守ってください。

2020年4月6日

- COVID-19に対する「正しい知識」を持って下さい**
テレビやネットニュースからの情報だけでは、単に「コロナ不安」がつのだけです。コロナウイルスの正体を知り正しい感染予防の生活を送れば、「正しく恐れる」ことができます。19ncov対策本部長も適宜情報発信しますので、職場・個人の学習を進めてください。
- 集団での病院外の飲食は禁止します**
この間発生しているクラスター(感染集団)の特徴である「3密(密閉、密集、密接)」を避ける行動が重要です。歓送迎会などの時期ですが、病院外の飲食・カラオケの利用などは感染防御が不十分になりますので避けてください。
- 会議、研修会などは感染防止を意識してください**
新型コロナウイルスは飛沫・接触感染が主体ですので、お互いが適切な感染防止(マスク、手指消毒)を行ってれば、感染リスクは高くありません。また感染の収束には早くても数か月はかかると予想されており、業務上必要な院内での会議・研修を規制するものではありません。開催に当たってはリスク低減(時間短縮、距離、換気など)を意識してください。
- 行政区の発信を遵守してください**
大阪府の吉村知事はこの間週末の外出自粛、接客を伴う夜の飲食店の利用自粛を要請しています。人の命を守る医療者として、情報を職場内で共有し、業務時間外の行動については、要望を破ることの無いようにしてください。
- 衛生資材の節約をしてください**
今後感染者が増加した場合、当院の外来にもCOVID-19の患者さんが毎日のように受診する状況や、COVID-19の入院患者さんを診療する状況になることが起こります。その際に衛生資材が適切に利用できないと医療者の感染リスクが上がります。また感染者がまわっている現状では、職場長の指示で極力節約(マスクの再使用、アルコール消毒より石鹸手洗いの励行など)をしてください。
- 不安・緊張状況での相互サポートを心がけてください**
今回のような感染症の蔓延状況は全ての方が未経験であり、世の中全体が不安・緊張状況にあります。正解のない、変化の多い、見通しのはっきりしない状況で勤務しており、ともすれば他人の言動や行動を感情的に非難してしまいがちです。こんなときだからこそ普段より共感的なコミュニケーション、「声掛け」を心がけましょう。
- SNS含む情報管理に細心の注意を払いましょ**
院内でCOVID-19の発生を公表した愛知民医連の南生協病院では、職員のみならずその家族も相当な誹謗中傷を受けたと報告されています。不用意な会話(家族内であっても)・SNSでのつぶやきで思わぬ人が非難にさらされないよう、情報管理に細心の注意を払ってください。
- 地域の発信できない人への働きかけを続けてください**
私たちが活動している西淀川区には、高齢者の方、多くの中小企業・個人事業主さん、非正規雇用者の方などがいらっしやいます。昨今の状況の中で過度の「受診控え」や「生活苦」が発生していないか、電話や郵便などの手段で意識的に地域への働きかけを進め、必要な援助を行ってください。
- 喫煙者は禁煙しましょう**
ECCC(ヨーロッパ疾患予防管理センター)は、喫煙者が新型コロナウイルスに感染した場合、重症化するリスクが高いとする研究結果を発表しました。また、喫煙所はマスクもせず3密の代表的な空間と言えます。喫煙者の方はぜひ禁煙しましょう。



中塚比呂志 Nakatsuka Hiroshi (大手前高校出身)

ほくせつ医療生活協同組合 豊中診療所 所長
PROFILE : 大手前高校出身(1977年)、大阪大学1983年卒、初期研修病院 西淀病院。1995年4月に豊中診療所所長就任。2000年4月豊中医療生協(当時)に移籍。

ですが、それらの活動すべてを俯瞰できる立場にあり、患者様方の反応を診察場で直接感じることができ、そして自らの医療理念をそこに活かすことができるというのは「診療所所長という役割」の大きな魅力だと思っています。

それともう一つ、診療所医療での大きな特徴は「継続性」です。最近では診療所所長となるには「家庭医」となる必要があり、家庭医養成プログラムを受けて所長就任となられている若手の先生が多いのですが、私たちの時はもちろんそうだったものはありませんでした。でも、一人の患者様に関わることでその方の生活と同時にその「家」に関わるという家庭的な活動は、そういったプログラムを経験しなくても診療所医療の中では必ず求められてくるものです。私が前任所長から継いだ頃はまだ小児科患者さんも多かったのですが、その頃診ていた子供さんたちが成長して就職し、あるいは家庭を持って子供さんもできて、その頃は保護者としていられていた親御さんとも、親子孫三代で一緒に来てくれています。この嬉しい変化を見られるのも長年診療所に関わってきたの楽しみの一つだと思います。

現在医療生協の理事長まで拝命して、医療だけでなく介護との連携や経営にまで責

診療所所長25年の私が思う地域医療



こんにちは、はじめまして。大阪民医連(西淀病院)に入職して37年、ほくせつ医療生協豊中診療所の所長を拝命して25年になるロートル医師です。この雑誌を作り始めた頃、一度原稿を書かせていただいたことがあったと思うのですが、それを読まれた医学生の方もすでにベテランになられたことでしょうか。今回はその後診療所所長になつてからの思うことなどを書かせていただこうと思います。

私が入職した頃は、今の新研修制度とは異なり、国家試験合格直後から医師として100%の仕事をするのが許され、逆に言えばそれが求められていました。ですから今から思えばまったく危ういことだった

と思いますが、なんと1年目から当時所長が病気で休まれていた竹島診療所の外来勤務を任されたのです。もちろん研修医ですから、周囲の人々や多くのスタッフに支えられながら、なんとか任期を最後までこなせました。本当にいい経験だったので、もともと診療所志向だった私はこの時に、一人一人の患者様方との距離も近く、また患者様方を生活背景も含めて「トータルに診る」民医連的な診療所医療が将来自分の進む道だと決めてしまっていた気がします。

その後所長として赴任するまでの12年間に、専門分野としては高血圧・脈管系と称してきましたが、そのための「役に立つ道具」として循環器、脳血管分野の経験を積み、加えて認定産業医、水俣病検診、はては麻酔科や救急医療にまで手を出して「広く、浅く」いろんな医療に関わりました。そしてそれらは、はからずも診療所医療での3本柱「慢性疾患」「在宅医療」「健診/予防接種(公衆衛生活動)」にすべて繋がるものでした。そうして私は、あの阪神大震災のあった1995年に、現在の診療所の所長を半ば宿命的に引き継ぐことになったのです。

さて、それでは診療所の良さ、とはどんなところにあるのでしょうか。そこには少し突飛と思われるかもしれませんが、いつ任のある立場となり少々苦戦しておりますが、地域の組合員様方の多くは、現在のCOVIDによる未曾有の事態にあっても離れることなく診療所を支え続けていただいています。この「地域の力」こそ私たちの原動力です。

医学生の皆さん、ぜひ私たちの診療所を一度見学にきていただいて、いろんなことを一緒にお話ししましょう。いつでも皆さんをお待ちしています。



スタッフ

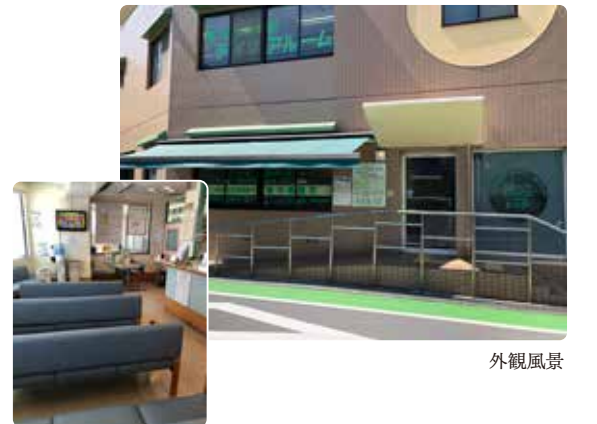


先生と事務長

なにわの医療道場「こなコト聞きたい」大募集!

なにわの医療道場では、テーマを変えて医師を目指す方たちへメッセージを掲載しています。技術的なことだけでなく、「医師にとっての志」「社会の中での医師の役割」など、テーマは多数。取り上げてほしいテーマなどございましたら大阪民医連までご連絡ください。

大阪民主医療機関連合会(大阪民医連)
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階
TEL: 06-6268-3970 FAX: 06-6268-3977
E-mail: igakusei@oskmin.com



外観風景

待合風景

“良心に恥じぬということだけが我々の確かな報酬である” 夢をあきらめないあなたへ 先輩からの応援メッセージ!!

こんにちは。徳島大学1年の眞邊龍です。私は推薦入試で受かったので、皆さんが求めているものとは異なるかもしれませんが最後まで読んでもらえたら幸いです。

私は高校3年間定期試験は手を抜きませんでした。遊ぶことが好きなのでいかに効率よく勉強するかを考えていました。まず大事なことは、授業をしっかりと聞き、授業後1分間で復習することです。これで、記憶が定着しやすくなります。予備校選びも大切です。学校の先生の教え方が悪かったり、合わないということもあると思います。その場合、自学で無理なら予備校に行くこともありだと思えます。私は家で集中できなかったので自習室目当てで予備校に行きました。私は人と話すとき長時間話してしまうので、友達のいない所を選び、友達も作りませんでした。自分の性格、やる気の出し方を受験生になるまでに分かっておいた方がいいと思います。推薦を狙う人は評定に加えて、部活の成績やボランティア活動をすることが必須です。そして、民医連の先輩を頼って情報を得ることをおすすめします。集団面接、討論は民医連に言えば何とかしてくれるのでぜひ相談してください。

私は学校の友達に誘われて、民医連の秋の模擬面接に参加しました。そこでは本番さながらの面接に加え、他の人を見学することもできます。僕の高校から5人参加し、そのうち2人推薦で受かりました。推薦を出すつもりがない方も二次に面接は必要なので参加することをお勧めします。

最後に、私の好きな言葉を書きます。「良心に恥じぬということだけが我々の確かな報酬である」この言葉の解説はしませんが、皆さんなら分かってくれると思います。勉強のモチベーションが出なかったら、民医連のイベントに参加したり、この言葉を思い出してほしいと思います。最後まで諦めず頑張ってください!



徳島大学 医学部1年生
眞邊 龍 (大阪明星学園高校出身)
RYU MANABE

“夢に向かって勉強を頑張っている自分最強!” 夢をあきらめないあなたへ 先輩からの応援メッセージ!!

こんにちは! 島根大学2年の西上あゆみです。浪人中に勉強以外で悩んでいたことについて書かせていただきます。体験談なので、軽い気持ちで読んでいただくと幸いです。

私は3年間浪人生活を送りました。浪人中は、成績のことはもちろんそれ以外のことも気が重くなることがありました。医学部に入れない自分は無能で、親のお金だけ食って、自分には価値がなくて生きてる意味がないかもと自習室の帰り道によく思っていました。その気持ちは、医学部に入ったあと、医学部に入れた自分すごい、能力ある、昔より価値が上がった、生きてる意味があるに変わりました。

その一方、3浪しないと医学部に入らなかった自分は、無能だという劣等感を抱えていました。しかし、最近その考えは間違っていたなと気づきました。民医連の学習会で考えた問いで「お酒やパチンコにはまっていて、手術費が払えない人は、自分のせいだから亡くなくても仕方がないか」に対して、殆どの医学生はNOと言えます。これはその人の能力によらず誰でも生きる権利があると知っているからです。しかし自分自身に当てはめると、医学部に入れなかっただけで自分自身を卑下し、差別をしていたことに気づきました。医学部に受かったからといって人間の価値が変わるわけでもありません。偉い人間になるわけでもありません。医師は社会的に地位がある職業だし、人の命を左右する責任のある職業ですが、医師である人とそうでない人に人間としての価値の差があるわけではありません。

逆説的になりましたが、自分の志望する大学に受かっていなくても、自分が無能で価値がないなどということは絶対にありません。ただ、高校の勉強が一定に達していないか、運が悪かっただけです。だから勉強以外のことで重く考えすぎたり、自分をむやみに痛めつけたり、責めたり、苦しい思いをしないでほしいなと思います。来年受かるかわからない中、勉強一筋で頑張った時期は、後から考えると学力以上の成長を与えてくれた時期だと感じています。医学部受験を、「夢に向かって勉強を頑張っている自分最強、すげ〜、カッコいい」くらいの気持ちで乗り越えてほしいです。もう一年頑張ると苦渋の決断をした浪人生の方々、勇気ある決断だし本当にかっこいいと思います。心から応援しています。



島根大学 医学部2年生
西上あゆみ (泉陽高校出身)
AYUMI NISHIE

申し込み
方法

医師体験



イベント



または

医学生ドットコム 検索

<http://www.oskmin-igakusei.com/>

KONAMONS

こなもんず



学習会のようす

とになりまし
た。参加者
は、医学科
中心に14
名。関西圏
にとどまら
ず、様々な
場所からア
クセスして
いただきました。
学年

も新1年生から国試合格直後の6年生まで
幅広い参加者となり、オブザーバー参加と
してOBも2名ほど聞き専で参加してくれ
ました。恒例のSGDでは班を三つに分け
て、全体共有とSGDで通信する環境を適
宜切り替えながら学習会を進めました。
実施内容としては、まず「医療に関わる
職種をどれだけ挙げられるか」をテーマに
アイスブレイクを行ったところ、3班全て
が25職種を上げるという奇跡の偶然に。ド
クターヘリのパイロット、病院の清掃員と
いった職種まで上がったのは流石というべ
きかもしれません。
メイン企画では認知症の高齢男性の症例
を取り上げ、外来初診からの簡単な臨床推
論ののち、進行していく過程でどのような
サポートが必要となるかを、状況の進行を
踏まえて議論しました。現場では様々な職
種が関わることはよく知られていることで
あり、疾患に対する職種別のアプローチを
検討するという、医学科のみでの臨床推論
と一味違う内容です。患者さん本人の認識

や同居する家族
の思いもふまえ
て、どのような
職種が関わり、
誰にサポートの
主役を担っても
らうのが最善な
のかと言った熱
い議論をおよそ
3時間にわたっ
て繰り広げまし
た。当初3時間
で症例を2つで
きるのではない
かと予想してい
ましたが、丁寧
に症例を検討す
るには、相応の
時間が必要なよ
うです。
本年度の医ゼ
ミを始め様々な
学習企画が従来とは異なる形式に変化する
ことを余儀なくされていますが、これまで
になかった新しい学びの形を作っていく好
機でもあるととらえ、できることを探って
いく年にしたいと思います。

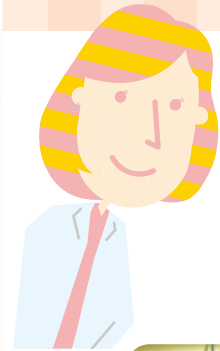


関西医ゼミに行く会 KONAMONS の
緒方です。新型コロナで大混乱のなか、皆
様いかがお過ごしでしょうか。去る3月11
日、関西医ゼミに行く会は「多職種教育を
考える」をテーマにポスト医ゼミin大阪を
オンラインの形で開催しました。ちょうど
全国一斉の休校要請に応じて各大学が部活
動禁止の通達を始めた時期であり、関西医
ゼミに行く会も多人数を集めての開催は難
しいとの判断から規模縮小のうえオンライ

KONAMONSとは、'Kansai Overseager No border students Association of Medical Oriented Notions'の略で、「医療に対して関心を持っている、関西圏全域の医療系学生を中心に、「よりよい医療ってなんだろう?」「よりよい医療者になるために今何を学ぼう?」を考える場を定期的に作っています。また、毎夏開催される「全国医学生ゼミナール(通称:医ゼミ)」にも毎年数名参加し、夏前までの学習をベースに分科会の発表を行っています。

医学部をめざす

高校生・受験生のみなさんへ 未来の医師を応援



医師体験

日曜・祝日などを除く診療を行っている日であれば、いつでも受け入れを行っています(土曜日は要相談、年末年始は診療を行っていないため受け入れ不可)。日本各地にある民医連加盟の病院や診療所で医師体験を実施しています。お近くの事業所をご紹介しますのでお気軽にご相談ください。医師体験では医師との懇談や診察見学、病院・診療所の検査機器などの見学やオプ室見学、時にはカンファレンスに参加したり、訪問診療で患者さんのお家に伺ったり、あまり見ることのない医師の働き方を知ることができます。また、介護施設などの福祉施設見学もできますので、事前に興味のあることを教えてください。



医学生としゃべり場

6月と10月に開催しています。様々な大学の医学生に受験時の悩みや勉強の仕方、予備校の選び方等ざくばらんにお話することができます。時には保護者の方の悩みにもこたえてもらうことも。医師の講演会もありますので医学生と一緒に学べる企画です。しゃべり場に協力してくれる医学生ボランティアも募集中!



医学部受験には避けて通れない、医療倫理の分野から「安楽死」や「セクシャルマイノリティ」などをテーマに学習と交流を行っています。教材から、「患者の立場ならどう思いますか?」「家族の立場なら?」「お医者さんの立場なら?」と、様々な立場での視点でディスカッションをします。自分の意見をしっかり伝え、相手の意見も尊重し、医師と一緒に、多様な意見があることを学びます。医師や医学生との交流もしっかりできます。

医療・倫理セミナー



手技レクチャー

医師体験ではなかなか体験できないプログラムを特化した企画です。BLS(一次救命処置)体験、縫合キットを使った縫合体験や腕の模型を使った採血など時々で内容は変わりますが医師になった気分を先取りしてモチベーションアップ!! 医師との交流もできます。



腹腔鏡体験

模擬面接

推薦入試とセンター試験後の時期に開催。「面接とは?」のレクチャーの後、医師と管理職のプロの面接官を前に面接を行います。志望大学の過去の面接内容を質問項目にあげ、面接後はフィードバックを行います。交流会では参加者や医師との交流も行います。



その他、合格おめでとう会 & 入学前実習や
さまざまなボランティア活動もやっています!!

耳原総合病院 梶本興平

(追手門学院大手前高校出身)

KOHEI
SUGIMOTO

入学後、サークル紹介の動画に感動して(笑)、ボランティアサークルに加入しました。そのサークルでは、発展途上国に赴いて、家を必要としている方のために家を建てるという活動をしていました。家を建てるって、そんな

まず、5月に近畿大学において全国の自治会の方々を招いて、自治会交流集会を開き各大学がどのように自治を行っているのか、どのように学生大会を運営しているのか、どのようなことが各大学で問題となっているのかということを教えていただきました。

次に学生の意見を聞くためにアンケートを行いました。まず5月に学生生活全体において広く意見を募りました。そして7月にそれを学連でまとめ項目化し、改善してほしい点について5つ選んでももらいました。その後それをもとに9月に各学年の学年代表者を集めて学年代表者会議を開き、学連と学年代表者で学生大会の決議案を決定しました。

まず、5月に近畿大学において全国の自治会の方々を招いて、自治会交流集会を開き各大学がどのように自治を行っているのか、どのように学生大会を運営しているのか、どのようなことが各大学で問題となっているのかということを教えていただきました。

な素人ができるの?と思われるかもしれませんが、もちろん大工さんたちがいてそのお手伝いをするという感じです。僕ができたことはとても小さなことだったけれど、支援した家族が泣いて喜んでくれる姿を見て、自分の力で誰かを笑顔にすること、とても幸せを感じました。それ以来、直接的に誰かの役に立つ仕事がしたいと思うように…。でも文系出身者ができる仕事の中で僕が望むような仕事は全然見つからず、悶々としながらとりあえず就活を続けるという日々を過ごしている中、東日本大震災が起こりました。何かしたいけど、力もない、お金もない、今行っても何もできないことがない自分は、画面越しに眺めていることしかできませんでした。

3か月後、ようやく現地に行って活動する機会を得ました。でもそこで僕ができたことは誰もいなくなった場所で瓦礫の山を片付けるという作業でした…。そんな中、ひよんなことから高齢の男性の被災者の方と出会いました。その男性はこれまでに戦争や自然災害で死の淵に立たされる経験を何度

もされていて、その度にどうにか生きてこられたと。今回も家を流されてしまった大切なものも失ってしまったと笑顔で話されるんです。その方のお話の中でとても心に残っている言葉があります。それは、「生きていく限り何度でもやり直せる」ものすごく深い言葉でした。この言葉をきっかけに、「生きるを支える」医師になりたいと思い今に至ります。

最後の学連の予定としては、全国の医学連に加入して1年間の活動を評価してもらい正式に医学連に加入する予定です。6月に行われた医学連大会において医学連に加盟することが承認されました。現在は後輩に引継ぎましたが、これからも学連は医学連と連携して学生がより良い学生生活を送れるよう大学の問題に取り組んでいきたいと思っています。

最後に読んでいただきありがとうございました！

最後の学連の予定としては、全国の医学連に加入して1年間の活動を評価してもらい正式に医学連に加入する予定です。6月に行われた医学連大会において医学連に加盟することが承認されました。現在は後輩に引継ぎましたが、これからも学連は医学連と連携して学生がより良い学生生活を送れるよう大学の問題に取り組んでいきたいと思っています。

最後の学連の予定としては、全国の医学連に加入して1年間の活動を評価してもらい正式に医学連に加入する予定です。6月に行われた医学連大会において医学連に加盟することが承認されました。現在は後輩に引継ぎましたが、これからも学連は医学連と連携して学生がより良い学生生活を送れるよう大学の問題に取り組んでいきたいと思っています。

最後の学連の予定としては、全国の医学連に加入して1年間の活動を評価してもらい正式に医学連に加入する予定です。6月に行われた医学連大会において医学連に加盟することが承認されました。現在は後輩に引継ぎましたが、これからも学連は医学連と連携して学生がより良い学生生活を送れるよう大学の問題に取り組んでいきたいと思っています。

梶本興平 PROFILE

●弘前大学2019年卒 耳原総合病院で初期研修開始
追手門学院大手前高校出身



近畿大学医学部5年生 松浦朋哉

(尼崎北高校出身)

TOMOYA
MATSUURA

初めまして、近畿大学5年生の松浦朋哉と申します。

私は前年度、学生連絡会(学連)という高校で言えば生徒会のような組織で会長を務めさせていただきました。今回は学連の去年の活動について皆さんに知っていただければ幸いです。学連は昨年度はじめて学生生活において民主主義による投票を行う学生大会を開催し、全国の自治会組織の連合組織である全日本医学生自治会連合(医学連)への加盟を目標としていました。そのために学生が学校に何を求めている、教授の方々には学生から何を知りたいか、学生大会をどのように行うかという問題について取り組みました。

まず、5月に近畿大学において全国の自治会の方々を招いて、自治会交流集会を開き各大学がどのように自治を行っているのか、どのように学生大会を運営しているのか、どのようなことが各大学で問題となっているのかということを教えていただきました。

次に学生の意見を聞くためにアンケートを行いました。まず5月に学生生活全体において広く意見を募りました。そして7月にそれを学連でまとめ項目化し、改善してほしい点について5つ選んでももらいました。その後それをもとに9月に各学年の学年代表者を集めて学年代表者会議を開き、学連と学年代表者で学生大会の決議案を決定しました。

また近畿大学同窓会(輝近会)との面談を重ねて、学校に入る際に必要なカードリーダーをタッチ式に変えていただき、

教授陣営と交渉を行いました。その結果大学のミニユの改善、レジユメのデータ化、6年生の自習室の環境設備の修理や改善などの問題に関して前向きな対応を取っていただけようになりました。

学校の女子トイレに大きな化粧鏡を設置してもらおうようにご協力していただきました。

今後の学連の予定としては、全国の医学連に加入して1年間の活動を評価してもらい正式に医学連に加入する予定です。6月に行われた医学連大会において医学連に加盟することが承認されました。現在は後輩に引継ぎましたが、これからも学連は医学連と連携して学生がより良い学生生活を送れるよう大学の問題に取り組んでいきたいと思っています。



- **阿倍野医学生サポートセンター**
〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町 1-1-17 サンビル阿倍野 4F
- **枚方医学生サポートセンター**
〒573-0051 大阪府枚方市三矢町 5-18 メゾン枚方 114 号室
- **狭山医学生サポートセンター**
〒589-0023 大阪府狭山市大野台 1-32-62 ソレイユイシド
TEL 06-6268-3970 (サポートセンター共通)

医学生のための サポート センター

ランチとディナーの取り組み



ランチのテイクアウト弁当 (狭山)



ディナーのお弁当 (枚方)

コロナ禍の影響で6月から随時サポートセンターの活動を再開しています。

大阪民医連では近畿大学狭山キャンパス近くに狭山医学生サポートセンター、大阪市立大学阿倍野キャンパス近くに阿倍野医学生サポートセンター、関西医科大学近くに枚方医学生サポートセンターを開室しています。例年では4月から新入生を迎えるべく準備していた企画も中止していました。6月から感染対策を徹底しながら、ランチのテイクアウト弁当(狭山)やディナーのお弁当(枚方)を学生さんに提供しています。栄養満点のランチやディナーを持ち帰ることができます。いつものようにみんなで食事ができるのが待ち遠しいです。

SNSの取り組み

大阪民医連の医学生担当では、3月の末よりTwitter、Facebook、HP、LINE公式ページ、を活用して、医学生や医学部を目指す高校生や受験生に病院の取り組みを紹介するツールとしています。この間の担当者の発信に多くの方からTwitterのフォローやいいねをいただいています。民医連のフィールドを知ってもらう機会を増やすためのツールとして今後も更新していきたいと思ひます。

ええやん!

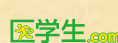
皆さんに当会の取り組みを知ってもらうために担当スタッフが様々な記事を絶賛配信中です。イベントや病院見学など、みなさんにも有益なお知らせを散りばめています。気に入った記事があったら、ぜひみなさんの「ええやん!」をお願いします。



@osaka.miniren.igakusei



@oskmin_igakusei



<http://www.oskmin-igakusei.com/>